

GOVERNOR's Monthly Letter



インスピレーションになるう

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー月信 vol.11

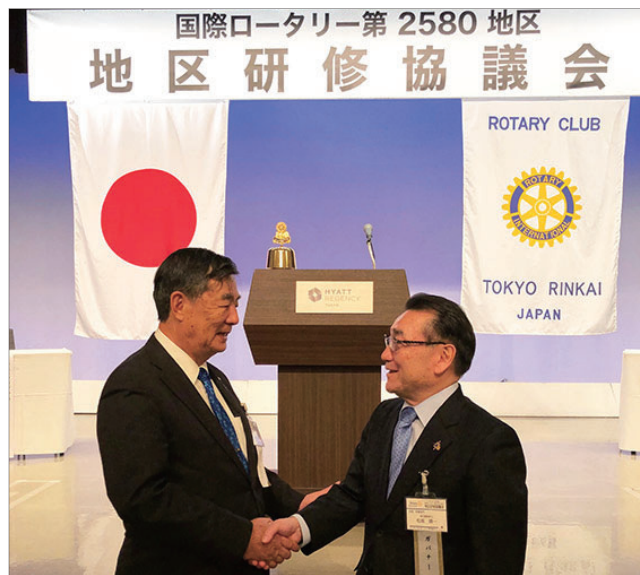
2019年5月号

RI会長テーマ 「Be The Inspiration = インスピレーションになるう」 を考える



地区ターゲット
「研修と活性化」
《その11》

国際ロータリー第2580地区
2018-19年度ガバナー
松坂 順一



4月23日 地区研修協議会で新本博司ガバナーエレクトに引継ぎの熱い握手を交わしました。

【青少年奉仕月間】

今月は【青少年奉仕月間】です。各ロータリークラブはこの月間中、週報やその他の広報資料に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用するように奨励されています。特に多くのロータリアンが直に接する機会がある青少年交換プログラムは1929年フランスのニースロータリークラブが最初の交換留学を行い、1939年にはアメリカ合衆国と南米間で開始され、1972年にRI理事会にて、世界的な平和と異文化の理解を深め育むことを目的とする国際的奉仕活動であると正式に決定された歴史的にも意義深い活動です。交換学生はロータリーの公式行事においては、「ロータリー青少年交換ブレザー」の着用が義務付けられています。多くの地区が日本と同様にブレザーの色に濃紺を採用していますが、カナダでは赤、フィンランドでは水色など国の特色を出したものもあります。このプログラムは当初、社会奉仕の傘下で発足し、当地区では長らく国際奉仕部門の活動として扱っていました。2010年、2013年の規定審議会を経て、五大奉仕の第五部門（青少年奉仕部門）になりました。青少年奉仕には、青少年交換以外にローターアクト、インターアクト、RYLAなどのプログラムがあります。

【『研修と活性化』の重要性】

4月は、3年に1度開催される規定審議会がありました。ここで議決される制法案、とくに標準クラブ定款の変更は、直接、クラブ運営にも大きく影響します。前回の審議会で決まった入会金の件は記憶に新しいことだと思います。正式な報告は規定審議会の決定報告書を待たなければなりませんが、会長エレクトにとって、最初の仕事はロータリークラブ定款の採用とクラブの実態にあった細則の改正が重要な仕事になります。さて、来月1日から5日までドイツのハンブルグで国際大会が開催されます。世界中のロータリアンが一堂に会し、鼓舞し、情報を得て目標を進展させるためのフォーラムを行います。当地区からも200名近い方が出席いたします。開会式とガバナーナイトに出席したら、あとは観光をする方も多いようですが、分科会や友愛の広場のロータリークラブが出展しているブースにぜひとも足を運んでください。特に分科会は自分が関心ある問題や疑問点について、ヒントを得たり、掘り下げて考える機会を与えます。分科会はロータリーらしい公共イメージの向上の方法など、盛りだくさんです。皆様とハンブルグの地でお会いできることを楽しみにしています。

5 月 号 の I N F O R M A T I O N

◆ガバナー月信

1P ガバナーメッセージ

2P 月間テーマ

3P From Assistant Governors

4～5P 地区委員会活動報告

6P 地区行事予定表 5月分

7P トピックス

8P 訃報 認証者情報 会員数報告 編集後記

◆ガバナー月信資料

2P ロータリー文庫通信 376号

3P コーディネーター NEWS 5月号

4～5P ハイライトよねやま 229号

—— 月間テーマ ——
『青少年奉仕』

青少年交換学生は小さな親善使節

地区青少年交換委員会カウンセラー
パストガバナー

上山 昭治

(東京武蔵野中央RC)

奉仕の第五部門である青少年奉仕は、1923年当時は社会奉仕委員会の一部門として発足しました。ロータリーの後継者になるであろう若い人たちに奉仕の理想を学んでもらい、共に行動してより『良い社会づくり』をめざし、ロータリーの希求する世界の恒久平和に繋げようとする目的で2010年の規定審議会の一つの奉仕部門に格上げされました。

当地区では、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、職場・就業体験の各委員会が青少年奉仕活動を展開しています。今年度からRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)が松坂ガバナーと嶋村委員長の熱い思いのもと当地区のプログラムに加わりました。1949年にRI理事会で採択された標語に「各ロータリアンは青少年の模範」というものがありました。これは、ロータリアンとして己を慎み、青少年を指導するに足る人間性を備え、青少年と共に行動して絶えず指導することで、青少年の模範になれると説いていました。

次に、私がカウンセラーを承っている「青少年交換」について述べていきたいと思います。このプログラムは、15歳から19歳の男女、概ね高校生が対象になります。ガバナーの監督のもと派遣側の人選は各地区に任されますが「小さな親善使節」にかなう素養のある学生に限られ、派遣先の国や地域は本人の希望通りにはなりません。8月の出発に先立って本人及び保護者に委員会から指導を行います。

費用は、旅費及び保険料は交換学生の保護者の負担。滞在費、食費、学費そしてお小遣いは受け入れ側の負担になります。受け入れ側はホストとなる家庭、学校、担当のロータリアンを用意して「小さな親善使節」としての使命を全うできるように計画を立て環境を整えます。当地区の受け入れは毎年8月上旬

に派遣される学生の出迎え、来日早々の日本語学習サマーキャンプ、学生間の親睦を目的としたワールド・トリップ、日本文化紹介の茶道のお稽古、約10日間のジャパンツアーなど多岐にわたり担当のロータリアンは大変ですが、滞日中の好印象がロータリーの希求する世界の恒久平和に向けた相互理解に繋がると思います。このような青少年交換活動に対する皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、青少年交換学生を受け入れるクラブにお願いしたいのは

- 1) ホストファミリーだけの受け入れではなく、クラブ全体で、受け入れ育てるという気持ちを持っていただくこと。
- 2) クラブのホストファミリー同士で連絡を密にしていること。
- 3) 来日学生をゲスト扱いせず、家族の一員として受け入れることが重要だと思います。

最後に、近年、青少年奉仕活動において危機管理の重要性が強調されており、2006年国際ロータリー理事会において「青少年と接する際の行動規範に関する声明」として決定がなされています。その声明を受けて当地区においても2007年に危機管理委員会が設立されました。特に青少年奉仕活動における危機管理について各クラブの会長、幹事の皆様をお願いしたいことは次のとおりです。

(イ) 事態が発生したら、直ちに被害者の安全を確保すること。

(ロ) 地区危機管理委員会に通知、報告をすること。
しかしながら、必要以上に危機を意識するのではなく青少年奉仕に関する各プログラムの本来の目的を達成し果たすことが大切だと思っております。

From Assistant Governors

沖縄分区での青少年奉仕活動について

沖縄分区ガバナー補佐

仲田 憲仁

(那覇北RC)

青少年奉仕活動につきまして、日頃から積極的に取り組まれていることと存じます。

これまでの歴史をもとにした活動、または今年度より新たに取り組み始めた活動等、少子高齢化を迎えたこの時代を生き抜いて行かねばならない大切な世代の育成サポートを我々ロータリアンの責任として更に積極的に推進して参りましょう。

当地区の 71 クラブがたくさんの素晴らしい活動をしています。今回は私がガバナー補佐を務めている沖縄分区の活動について紹介いたします。全 11 クラブが青少年奉仕活動を推進している中で 3 月 28 日に行われた『奉仕活動情報交換研究会』でもとりあげられました内容について述べさせていただきます。

特徴としては、沖縄の抱える問題の中でも行政自治体の一助にもなっている貧困児童や虐待児童の問題に対する取り組みが多く 11 クラブ 13 事業中、那覇 RC の「ていーだこども食堂へ耐久備品の寄贈」「石嶺児童園へサクラ苗木の記念植樹」、那覇南 RC の「子どもの居場所づくり支援」、那覇北 RC の「愛隣園バザーへの協力」、宮古島 RC の「こども食

堂みゃーくがにへの耐久備品の寄贈」、コザ RC の「生活困窮者世帯の高校生に対する学習指導・就職支援」「沖縄における貧困・虐待児童の自立支援」と 5 クラブ 7 事業行ないました。

中高校生を対象にした名護 RC 「北部地区中学校新人野球大会」、那覇西 RC の「鹿児島・沖縄高校生交流」、那覇東 RC の「沖縄県特別支援学校体育大会」も行われ青少年世代の未来の可能性づくりにも貢献できたと思います。

浦添 RC の「浦添手だこ児童書プロジェクト」、石垣 RC の「指田文庫への図書券寄贈」は子供たちの教育、地域への貢献も合わせて素晴らしい取り組みでした。

そして全世界の平和を願い大空へ夢を乗せて、宜野湾 RC の「平和の使者オオゴマダラを飛ばそう」が行われました。

他にも沖縄開催の R Y L A への積極的な参加協力もいたしました。今後も新世代の為の常設プログラム等の継続実施を心掛け、次世代につながるものを創り続けて参りましょう。

—— 地区委員会活動報告 ——



今年度地区青少年奉仕の活動報告と展望

地区青少年奉仕委員会委員長

松岡 浩

(東京本郷RC)

地区青少年奉仕委員会は、今年度より、従来のインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、職場・就業体験委員会に加えて、新たに、RYLA 委員会が加わり、合計5委員会を包括する、地区五大奉仕委員会のなかでも最も大きく且つ事業内容に関しても国内外も含めてとてもアクティブに奉仕活動を展開する委員会になりました。

インターアクト委員会では、8月5日に第55回インターアクト年次大会を沖縄県浦添市の昭和薬科大学附属高等学校にて開催し、インターアクターが一堂に会して各インターアクトクラブの活動を確し交流を深めました。6月9日には、安田学園インターアクトクラブ（スポンサーRCは東京東ロータリークラブ）の発足式が行われる予定で、新たなインターアクトクラブが誕生します。

ローターアクト委員会の活動としては、①地区ローターアクト会長幹事会をインターアクト会長幹事会と合同で開催(12月15日 関東第一高校にて)

②地区ホームページを開設 ③年度の決算の充実をはかる が挙げられます。これらは、前年度までとは違う活動です。今年度のローターアクトの活動を特徴付けるものであると思います。

青少年交換では、10名の来日学生を受け入れました。また、第55期派遣予定学生10名は、来日生と共にサマーキャンプ、フィールドトリップ、茶道稽古、ジャパントアなどを経験し、この約1年で大きな成長を遂げ、7月～8月に派遣国へ向けて旅立ちます。

職場・就業体験委員会は、①受入事業数の増加及び登録の推進 ②情報提供 ③学校側への受入事業所情報の公開と周知を軸に活動を展開しました。

これらの取り組みは、東京都との連携の関係から公立学校に限られています。広く青少年育成事業として考えたとき、公立と私立の生徒を区別せずにキャリア教育を推進すべきではないか、それを考え実現していく時期に差し掛かっていると言えます。

RYLA 委員会では、委員が各クラブを訪問し卓話をとおしてRYLAの知識と理解を深めていただく活動を行いました。3月1日～3日の2泊3日で当地区として初めてのRYLA セミナーを沖縄県南城市「沖縄県立玉城青少年の家」にて開催し、クラブから推薦を受けた27名の受講生が参加しました。5月18日には「RYLA 報告交流会」を四ツ谷の主婦会館プラザエフで行います。RYLA 学友の発表などもあります。

今年度あらたに発足した学友委員会では、委員会のはじめての事業として5月19日に「第1回 学友の集い」をタワーホール船堀にて開催します。インターアクト、ローターアクト、青少年交換、RYLA、米山奨学金、ロータリー財団奨学金プログラムの各修了者たちとロータリアンの絆を深め、異なる学友同士の交流を促し、新しい流れをロータリーに導き、その中から将来のロータリアンが生まれることも期待されることです。

1年間委員長を務めさせていただいた私からとしては、漸く動き出した感があるセクター間の交流が益々活発になり、ロータリーファミリーが中身と実態を伴って大きくなることに大いなる期待感を抱いています。また、活発に青少年奉仕活動が行われ、一人でも多くのロータリアンが青少年奉仕の醍醐味と魅力を肌で実感していただきたいと願っています。

地区委員会活動報告

『奉仕活動情報交換研究会』報告

去る3月28日、番町小学校にて開催いたしました『奉仕活動情報交換研究会』（共催：地区五大奉仕委員会 主管：地区社会奉仕委員会）は約100名（RC）の参加をいただき、成功裡に終了いたしました。

3クラブの事例紹介と参考事例紹介（番町小学校の浅岡寿郎校長先生の「当校のボランティア活動」、五大奉仕委員長による『奉仕活動を考える』をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。

事例1

『インドネシアてんかん治療啓蒙活動からアジアてんかん学会の創立』（東京浅草RC）は、グローバル補助金を活用し、インドネシアにてんかん治療の技術を向上させる目的で行なわれました。現地での治療実習に加えて、日本での医師、看護師の治療トレーニングの実施等、インドネシアでのてんかん治療の向上に役立ちました。その実績がマレーシア、シンガポール、タイ、台湾にひろがり、昨年の10月にはアジアてんかん学会の創立総会が開催されるにいたりました。専門職業人の技術向上を目指す職業研修チーム（Vocational Training Team）に近い形態であることが評価されました。



事例3

『フードドライブ』（浦添RC）は浦添市のボランティア連絡協議会の協力のもと、毎月1回例会時に食料を持ち寄りボランティア事務局へ届ける。その後、対象家庭に配布するという、『フードバンク』の典型的なものです。代表的な事例として評価されました。

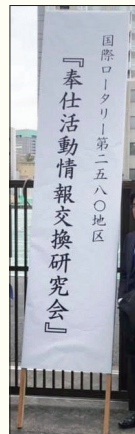


参考事例

『番町小学校・番町幼稚園音楽会』（東京紀尾井町RC）会場となった番町小学校・幼稚園の音楽会への支援活動です。ロータリーと番町小学校の強い繋がりを示す内容となっています。会場を番町小学校講堂という敢えてホテルでない公共施設での開催をすることにより奉仕活動の原点を見つめ、地域社会との密着度を高めた研究会だったと思います。



浅岡番町小学校長



事例2

『シューズバンクプロジェクト』（東京練馬中央RC）は、日本の子供たちの成長に伴い不要になった靴を集め、経済的理由で靴を買えず通学などに支障があるフィリピンの子供たちに贈るプロジェクトです。また日本側の子供たちにモノ大切にする心を植え付けました。小規模（学校単位）のできる活動です。10年経過した現在はロータリーの手を離れ、学校のボランティア活動として発展したことが評価されました。



最後に地区五大奉仕委員長のパネルディスカッションは奉仕活動を横断的に考える場になったと思います。来年度も開催して欲しいと五大奉仕委員長一同、願っております。

地区クラブ奉仕委員会委員長
中川 雅雄（東京浅草RC）

地区行事予定表 5月分 (2019/4/25 現在)

1 水		
5 月		
6 月		
7 火		
8 水	15:00-17:00	地区青少年交換委員会 ●学生会館 307 号室 ローターアクト地区役員会
	10:30-17:00	(沖縄分区) ロータリー研修会 ●沖縄県男女参画センター「ているる」
9 木	10:30-17:00	↓ ↓
	15:00-16:45	新旧 地区青少年奉仕委員会 / 17:00- 懇親会 ●ホテルメトロポリタンエドモント 3F 光彩 / 1F ベルテンポ
10 金	16:10-	東京城北 RC 創立 50 周年記念例会・式典 / 18:00- 祝賀会 ●ヒルトン東京 3F 藤
11 土	14:00-17:00	ロータリーフェローズ東京 春の例会 ●日本外国特派員協会
	17:00-	東京臨海西 RC 認証状伝達式 ●東武ホテルレバント東京 4F 錦
12 日	08:30-16:00	東京上野 RC 主催「下谷神社大祭」青少年交換学生参加 ●集合：JR 上野駅 中央改札口パンダ像前
13 月	15:00-17:00	次年度地区米山奨学委員会 ●ガバナー事務所⇄那覇 RC 事務局
14 火	14:30-17:30	第 7 回 (最終回) ガバナー補佐エレクト研修 / 研修終了後 懇親会 ●ホテルグランドパレス
15 水	14:00-20:00	東京福生 RC 創立 50 周年記念式典 ●フォレスト・イン昭和館
16 木	15:00-17:00	地区 RLI 委員会 ●ガバナー事務所 B1F
17 金		
18 土	15:00-20:30	RYLA 報告交流会 ●主婦会館プラザエフ 7F カトレア
	15:00-	青少年交換学生 茶道稽古 ●裏千家 今日庵 東京道場
19 日	13:30-16:30	(在京) 学友の集い ●タワーホール船堀 2F 瑞雲
20 月	09:30-17:30	当地区 RLI パート III ●ホテルグランドパレス
	10:30-12:00	一般社団法人 R の友事務所 理事会・常任委員会
	12:00-16:30	2019-20R の友地区代表委員オリエンテーション ●メルパルク東京 3F 牡丹
	14:30-	地区会計処理 ●ガバナー事務所 1F
21 火		
22 水		
23 木	15:30-19:30	(在京) 会長エレクト・次期クラブ米山委員長セミナー ●ホテルニューオータニ ザ・メインアーケード階 おり鶴 悠 / 舞
24 金	18:30-20:30	日本青少年交換研究会「金沢」プレコンベンション ●市の蔵 (近江町いちば館 2F)
25 土	11:45-19:30	ローターアクト年次大会 / 20:00-22:00 二次会 ●浅草ビューホテル 4F 飛翔・3F 祥雲 / やきとり道場 浅草国際通り店
	12:45-17:00	ロータリー平和フェロー日本文化交流会「歌舞伎座ギャラリー見学 / 向島芸者衆と屋形船」●東銀座駅 B2F 歌舞伎座入り口前 集合
	15:00-	青少年交換学生 茶道稽古 ●裏千家 今日庵 東京道場
		日本青少年交換研究会「金沢会議」
	11:00-12:30	地区リーダー向けセミナー ●ANA クラウンプラザホテル金沢 3F 瑞雲
	13:00-16:45	本会議 / 分科会 ●石川県立音楽堂 / ANA クラウンプラザホテル金沢
	17:15-18:30	全体懇親会 ●ANA クラウンプラザホテル金沢 3F 鳳
	19:00-20:30	ロータリアン懇親会「金沢ナイト」●ANA クラウンプラザホテル金沢 19F アストラル
26 日	08:45-09:45	地区青少年交換委員長会議 ●ANA クラウンプラザホテル金沢 3F 瑞雲
	10:00-12:00	↓ 本会議 / 閉会式 ●ANA クラウンプラザホテル金沢 3F 瑞雲
27 月		
28 火	16:00-	一般財団法人比国育英会バギオ基金 第 10 回臨時評議員会 ●弘済会館
29 水	17:00-20:25	東京後楽 RC 創立 20 周年記念式典 / 祝賀会 ●東京ドームホテル B1F 天空
30 木		
31 金	17:00-	東京新宿 RC 創立 40 周年記念式典 ●ハイアットリージェンシー東京 B1F 桃山

*日程は毎週更新されています。詳細は地区のウェブサイトでご確認ください。

*地区の行事は「事前登録制」です。事前登録をなさらないで、参加される場合は、必ず当該行事の担当者にご連絡の上ご参加ください。

6/19 地区納めの会ご案内

懇親会では、情熱的なアルゼンチンタンゴをお楽しみください。

日 時：2019 年 6 月 19 日 (水) 19:00 ~ 21:00 [開場 18:40]

場 所：ハイアットリージェンシー東京 地下 1 階「センチュリールーム」

東京都新宿区西新宿 2-7-2 TEL03-3348-1234

登録料：1 名 15,000 円 ※お手数ですがクラブで纏めてお振込みください

振込期限…6 月 7 日 (金) ※6 月 7 日以降のキャンセルは返金いたしかねますので
ご了承ください

タンゴダンサー・GYU&夏美れい

END
POLIO
NOW

インドにおけるポリオワクチン投与活動に参加して

インドでは、全国で年2回のポリオワクチン投与活動が開催されます。私は、3月9日から10日に開催されたポリオ投与活動に初参加させて頂きました。今回は予定が変更になったことにより多くの方が参加できなくなり、ロータークト2名を含む総勢9名のメンバーが全国より参加しました。



初日、ポリオ治療棟のある外科病院を訪問し、ポリオ担当外科医のマティユ・バリエ氏(写真:右)の講演を聴くことが出来ました。セントステファン病院はポリオの拠点病院としてポリオ患者の治療を行います。



また、貧しい方には無料で治療を行う貴重な病院です。インドにおいてポリオは撲滅されましたが、まだまだ多くの方がポリオを患っています。ここでは手術を施すことで歩けない方を歩けるようにし、義手、義足を製作することで少しでも生活が楽になるような技術を磨いています。義手・義足などの補助具を製作するための3Dプリンターの購入には、ロータリーの資金が使われているとのことで感謝の言葉をいただきました。これからは、3Dプリンターとロボティクス技術が必要です。そして、ポリオ撲滅だけでなくポリオ患者の治療には、ロータリーからの継続的資金援助が欠かせません。

2日目、1チーム3名のメンバーで公園等にあるブースで現地の保健師さんと共にワクチンの投与を行いました。私たちのブースでは5歳以下300人以上の子供たちにワクチンを投与できました。投与活動を行うには全員ポリオチーム共通の帽子をかぶり、共通のユニホームを身に着けます。ワクチンの投与が出来るのは保健師さん以外、ロータリアンだけです。



3日目、1チーム2名に分れ、保健師さんと共に各家庭を個別訪問しワクチンの投与を行いました。すべての建物、家々に、たくさんのお子さんが住んでいることに驚かされました。

ワクチンはいくらあっても足りません。コールドチェーンそしてNIDの仕組み作り、キャンペーン活動にロータリーは、ポリオプラスを通じて関わってきました。コールドチェーンに必要な冷凍庫、冷蔵バック、NIDに必要な帽子やユニホーム、保健師さんの活動資金そしてワクチン投与ブースや施設の建設、維持にロータリー財団の資金は生かされています。ポリオプラス活動は、ポリオ撲滅だけでなく疾病予防、治療活動に欠かせません。ワクチン投与活動を怠ればいつまた、どこかの地域で流行するとも限りません。継続的活動が必須であり、そのためにはロータリアンの支援が必要です。今回のインドポリオワクチン投与活動を通じて、ロータリー財団の価値と重要性を感じ帰国いたしました。



ポリオが撲滅されてもポリオワクチン投与活動は継続的に行わなければなりません。保健所、病院等における感染症の予防接種が定着しているのは、一部の近代国家だけです。

注：NID とは、ポリオワクチン投与日を示します。指定された日に全国で一斉にポリオのワクチンを投与します。

次年度地区ポリオプラス委員会委員長
石川 幸男(東京荒川RC)

今後のRLI開催スケジュール

- ・RLI パートⅢ 2019年5月20日(月) 9:30~17:30
- ・RLI 卒後コース 2019年6月10日(月) 13:30~17:50

尚、パートⅠを受講されていなくても、パートⅡ、パートⅢは受講できます。卒後コースは、パートⅠ、パートⅡ、パートⅢを全て修了していないと受講できません。詳細は地区RLI委員会までお問合せください。

謹んで哀悼の意を表します。



柏田 吉美 会員

(かしわだ よしみ)
(宜野湾 RC)

逝去日 2019年3月21日 享年 87
入会日 1992年7月15日
株式会社ジャパンビバレッジ沖縄 顧問
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

1回 青山 信之(東京新都心) 山口 昭夫(東京新都心)

米山功労者・マルチプル

4回 今井 裕一(東京お茶の水)

2回 奥山 聡(東京お茶の水)

米山功労者

大河原 愛子(東京)

吉田 潤(東京江北)

3月31日分まで 敬称略、順不同

第2580地区 2019年3月会員数

7月1日クラブ数	70RC
7月1日会員数(前年度から継続)	3,017名
(内女性会員)	204名)
3月末クラブ数	71RC
3月末会員数	3,071名
(内女性会員)	214名)
3月入会者	18名
(内女性会員)	2名)
3月退会者	19名
(内女性会員)	1名)
本年度入会者	202名
本年度退会者	148名
本年度会員増減数	54名
本年度女性増減数	10名

ロータリー活動での疑問点や確認されたいことがございましたら、何でもご相談ください。ガバナー以下地区役員が検討して、次号のガバナー月信でお答えします。ご連絡はこちらまで。

ガバナー月信専用アドレス

fuminori.satoh.set@gmail.com

編集後記

31年間続いた平成が終わり、5月1日から「令和元年」がスタートしました。5月といえば、お待ちかねの大型連休です。とりわけ今年は新元号公布早々の10連休です。この時期特有の「病気」があります。4月に進学や就職をして生活環境が変わることによる「5月病」。「連休後に学校や職場に出たくない、体調が悪い、やる気が起きないなどの初期症状があり、やがて欠席や欠勤が続くようになります」(松坂ガバナー談)

ところで皆様は、学校や職場と異なるロータリークラブに「5月病」は無いと言えますか。会長幹事をはじめクラブリーダーの皆様は、今年度の総括や次年度への引き継ぎなどで忙しく、この10連休は格好の骨休め、家族サービス、気分転換の期間と楽しみにされていると思います。

そこでご提案です。お出かけの際にはクラブ会員名簿「ロスター」をご持参ください。皆様のクラブに日頃から、例会を休みがちな会員、発言が少なくクラブライフになかなか馴染めない会員がいませんか? もしいらしたら、旅先でもどこでも構いませんので、ロスターに登録されている電話番号にひとこと、いや今はSNSですかね、「元気でやっている? 例会に出て来てね」、「連休明けの例会は○日だよ」などと声をかけてください。声をかけられた会員は「連休中なのに気をつかってもらった」と喜ぶに違いありません。きっとクラブリーダーの皆様だったら、もっと気の利いたお声がけになると思います。

「5月病」、ロータリークラブにもあります。7月の新年度の前に退会をされる会員を少なからず見かけます。特に、ベテラン会員と入会歴の浅い会員、どちらも年度切り替え前に退会をしておけば、クラブに迷惑をかけないだろうという思慮深い考えからです。そしてそれ故にこの時期は、クラブの仲間たちと距離を置きがちになります。この大型連休前後は、例会を休会するクラブが多いように思われます。このような例会でのふれあいの機会が少ない時期だからこそ、週報やメールだけでなく、会員の皆様とのコミュニケーションを計るツールをクラブで採用して、ロータリアンの思いやりの精神で運用すると、この「5月病」にも効果があるのではと考えてなりません。

地区副幹事 ガバナー月信担当

佐藤文則(東京四谷 RC)